

アイルランド社と提携

ITC、航空機リース拡大

共同案件組成 日本の投資家紹介

アイ・ティー・シー・アエロスペース（ITC、東京都中央区、中山智夫社長、03・3555・3621）は、アイルランド航空機リース会社のVGSエアクラフトホールディングと業務提携した。共同で航空機リース案件を組成して投資家に販売するほか、ITCは航空機リースに出資する日本の投資家をVGSで紹介していく。また自社独自でも管理・保有機を増やし、航空機リース事業を拡大する。

VGSにはスウェーデン航空機リース会社のヴォリト・アビエーション・ABと米ゴールドマン・サックスが出資する。これまで、VGSは欧米の投資家を中心に事業を展開。今後はITCが協力することで、日本の投資

り扱いを増やす方針。ITCは、商社出身の中山社長が設立。航空機を自社で保有・管理するほか、投資家に売却した航空機をリース資産として世界の航空会社に転り

リースなどをする。現在は世界18カ国で50機の航空機やヘリコプターをリースし、これまでの組成件数は250機を上回るという。今後も航空機やドクタ

ーヘリなどの取り扱いを増やし、管理・保有機数を2018年度には100機体制にする計画。営業資産残高は100億円弱を18年度には500億円を目指す。

家にも販売を拡大する。ITCもVGSと協力することで、航空機リース事業を拡大する。また自社独自でも従来のナローボディ機（内部の通路が一つの旅客機）やリースジェットなどの取